

《講演抄録》人口減少社会でのスタッフ確保の処方箋～安定した成長を目指して～

医療法人 和田歯科医院 理事長 和田 匡史

歯科医師、歯科医院の存在意義は良質な歯科医療を継続的に提供し続けると考えます。採用難、国からの要請など昨今の急速な社会変化への対応は院長一人の力では困難となってきています。

信頼できるスタッフがいてこそチーム医療が成り立ちます。

ところがコロナ禍が終息した後、歯科衛生士はもとより、受付や歯科助手スタッフも採用が困難になってきていることを体感されているのではないのでしょうか？

引き続き良質な歯科医療を地域に提供し続けるためには、採用も大切ですが、離職防止や復職しやすい環境を整備することの重要性は増すばかりです。

我々歯科医師は大学時代には歯科医療に関しては学びましたが、医院の運営に関して学んだことはありませんでした。

地域の患者さんに良質な医療を提供し続けるためには、安定した組織運営が必要です。その根幹がスタッフの確保と安定であることは論を持ちません。組織運営から逃れることはできないのです。

私は、地方の3代目の歯科医師です。父1人で運営していた歯科医院を継承し現在に至ります。その中で多くの失敗を繰り返しながら、現在は、まだまだ改善点はあるものの、ある程度安定した運営基盤をつくることができました。

やはり、良質で安定した歯科医療を提供し続けるためには、「仕組み化」とそのベースとなる「ルール作り」が必須であると感じています。

当院では女性スタッフの結婚出産は続いていますが産休後90%は職場復帰してくれるようになってきました。

今回はこのような貴重な機会をいただきましたので、スタッフが辞めないための仕組みづくり、成長支援制度（人事制度）労務負荷軽減で有効だったデジタル化採用の仕組みなどについてお話をさせていただきます。

何かしらお役に立てることがありましたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

《和田匡史先生略歴》

[学歴] 1999年大阪歯科大学卒

2003年徳島大学大学院 歯学研究科 博士課程 終了（口腔外科学専攻）

[職歴] 2004年とみなが歯科勤務

2006年医療法人 和田歯科医院 副院長

2009年医療法人 和田歯科医院 院長 医院移転

2016年～医療法人和田歯科医院 理事長

[所属学会等]

徳島県歯科医師会 保険部員

日本歯科麻酔学会 登録医

日本口腔外科学会 会員

日本口腔インプラント学会 会員

一般社団法人 MID-G 顧問